

静岡市郊外の棚田でお米を作って24年

(5-2) 棚田の生き物写真アラカルト (哺乳類以外)

天岸祥光

美しい蝶や蛾が意外に沢山棲息している

長年蝶や蛾の写真を撮ってきて気が付いたことは、昼間飛んでいる蛾は夜の蛾と違って美しいということです。蝶と張り合っているのでしょうか(笑)。

棚田に舞っている蝶と蛾を Youtube と QR コード (右) で 15 種類紹介します。どちらかをご覧ください。

<https://youtu.be /oTXwmpFdXXI>



次の蝶は最近撮ったために、15 種の中に入れられなかったので別枠で紹介します。

NPO の諏訪さんによれば、奄美、沖縄方面には 2 種類のキチョウがいるそうで、より南に居るのがミナミキチョウ、本州を含む北に居るのがキタキチョウと呼ばれ、これはキタキチョウだそうです。なんと奄美方面のキチョウがこの棚田に居るのです。



キタキチョウ

ホタルが二種類自然発生している

ゲンジボタル (主に 6 月)、ヘイケボタル (主に 7 月) の両方が自然発生しているのが清沢塾の自慢。自然発生を可能にしているのは蛍の幼虫の餌が田んぼにはたくさんいるから。



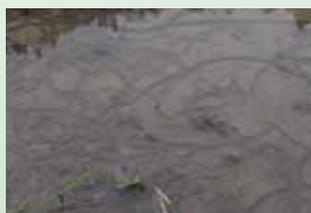
大きいのがゲンジボタルの幼虫の餌であるカワニナ、右の小さいのがヘイケボタルの餌になるヒメモノアラガイ。



ゲンジボタル



ゲンジボタルの乱舞 (NPO 横山さんの重ね撮り)



カワニナの動いた跡



ヘイケボタル

トンボ

<https://youtu.be/4MRcnTWyGAQ>



アカハライモリ

<https://youtu.be/4MRcnTWyGAQ>



珍しい生き物

<https://youtu.be/QyHCQkdqJIE>



蛇

<https://youtu.be/Q2WH01Bau0w>



棚田に棲息するカエルたち

初めに紹介するのは主な棚田のカエルとその鳴き声で（右の URL と QR コード）。次に棚田の主役のモリアオガエルです（右の URL QR コード）。

アズマヒキガエル（ガマ）はモリアオガエルの次の棚田の主役です。ただ田んぼの卵やオタマジャクシをカラスに食べられてしまうので、最近では主に山の溜池に集まって産むようになりました。

アズマヒキガエルは卵から孵って子ガエルになると、一斉に山に帰って行くと言われていたが、それを是非この棚田で見たいと思い、長年そのチャンスを狙っていたところ、2,3年前にその時が訪れた。その記録を NPO 会誌「自然史しずおか」第 82 号に載せたので、ご覧になっていない方は下記の QR コードか URL でご覧ください。題名は「山に帰るアズマヒキガエル劇場」です。

https://youtu.be/683UGWO_J40



棚田のカエルとその鳴き声

<https://youtu.be/fwNdxhtQel>



モリアオガエル



集まったアズマヒキガエル



アズマヒキガエルの子ガエルが山に登っていく。

<https://youtu.be/87yJ9tIFbc>



アズマヒキガエル劇場

鳥 姿は見えなくても美しい声で鳴くトリの代表はアカショウビン。特定外来生物のガビチョウやソウシチョウもよく鳴いている。

この棚田にはスズメは見かけない。その代わりにホオジロがたくさんいるけれど、人間が棚田に入ってくると一斉に後姿を見せて森に入ってしまう。

最近カラスがアズマヒキガエルのオタマジャクシの味を覚えたらしく、全部食べてしまう。それでアズマヒキガエルは田んぼにはあまり産まなくなり、山の上の溜池（そこは木に囲まれていて、カラスは来ない）に大量に産むようになってしまった。



棚田の上空を舞うクマタカ（NPOの三宅飛鳥さん撮影）



アオサギなどがたまに迷い込んでくることもある。



カケスの声も冬聞こえる。これは小動物に襲われたらしいカケスの羽根の散乱。カケス独特の美しい羽根も混ざっている。



まだまだたくさんの生き物が棲息していますが、昆虫類などあまり熱心に撮ろうとしてこなかったため、写真はこんなところでしょうか。

次回はよいよ最終回で、清沢塾がかつて行っていたもう一つのアクティビティを紹介します。しかしそれは残念ながら環境が変わり現在はやっていません。お楽しみに。



ジョウビタキのオスが十数年前から棚田の1段あたりに縄張りを張るようになったけれど、以前と今のジョウビタキが同じかどうかはわからない。



最近赤外線カメラに初めてヤマドリ姿が映りました。一瞬です。尾の長いのが特徴。